

2018年2月 例会報告

日時 2018年2月10日（土）午後2時～5時

場所 早稲田奉仕園 リバティホール

2018年2月10日（土）午後2時から早稲田奉仕園リバティホールにおいて、日本詩人クラブ2月の例会が開催されました。司会は草薙定、宮本苑生の両氏。

川中子会長の挨拶に続き、会員による詩朗読とスピーチが行われました。朗読者は山崎啓氏（可児市）、岡田ユアン氏（横浜市）、松田ゆか氏（さいたま市）、渡ひろこ氏（越谷市）の4名でした。

講演は高山利三郎氏による「教室に感性の授業を」～ニュープロジェクト・詩の授業実践を通して～。前半は日本詩人クラブ・詩の授業実行委員でもある高山氏が各小学校で行った詩の授業の実施報告を行い、後半は津村信夫の「冬の夜道」を題材に当日の出席者と共に詩の授業を行っていただきました。

例会終了後は近隣のサイゼリヤで懇親会が行われました。



高山利三郎氏の講演



会場風景

会員による詩朗読とスピーチ



山崎啓氏



岡田ユアン氏



松田ゆか氏



渡ひろこ氏

第11期「詩の学校」⑤ 報告

日時 2018年2月24日（土）午後2時～4時30分

場所 東京セミナー学院

2018年2月24日（土）午後2時から東京セミナー学院において、第11期「詩の学校」の講義「詩の書き方」が行われました。講師は鈴木東海子氏。司会は下川敬明氏。

まずはじめに参加者が鈴木氏の指導の下に紙に立方体を描きました。そのことから鈴木氏は立体的な物の見方、透視力の重要性を語られました。その後、立派に製本された入沢康夫詩集『わが出雲・わが鎮魂』を絡めながら、具体的な詩の書き方をお話いただきました。最後に詩誌「櫻尺」から鈴木氏が自作詩を朗読、参加者が感想を述べ閉会となりました。



講師の鈴木東海子氏



講義風景